

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日（火）に全国の6年生を対象に実施された「全国・学力学習状況調査」について、過日各自治体より分析結果が公表されましたので、本校の調査結果の概要をお知らせいたします。

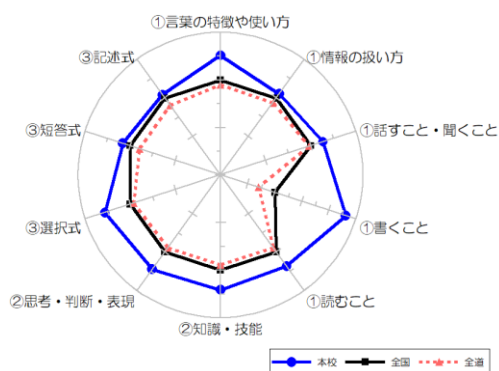
国語科は、全道・全国平均を大きく上回り、算数科は、全道平均を上回ったものの、全国平均を下回りました。

国語科においては、学習内容「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のすべてが全道・全国平均を上回り、特に「書くこと」が10ポイント以上も上回りました。算数科においては、学習領域「数と計算」が全道・全国平均を上回りましたが、「図形」「変化と関係」「データの活用」が下回る結果となりました。

国語科の「書くこと」は好結果であったものの、算数科の記述式の回答に課題がみられました。「字数を決めて書くこと」「時間を決めて書くこと」「条件を決めて書くこと」を国語科や算数科だけではなく、すべての学習活動で計画的・意図的に取り入れ、書いて表現する力を高める授業づくりに全校で取り組んでいます。

児童質問紙では、「人の役に立つ人間になりたいと思う」と肯定的に回答した児童が95.9%となりました。また、「国語や算数の勉強が大事だと思う」と肯定的に回答した児童も94.8%となりました。一方で、昨年に引き続き、「ゲームやSNS、動画視聴の時間」が長く、「休日の家庭での学習時間」や「読書の時間」が短い傾向がみられ、課題となっております。「平日の家庭学習の時間」は、全道・全国並となっていることから、今年度から導入したデジタルドリル「スマイルネクスト」の積極的な活用や、家庭学習のきっかけづくりとなる宿題の取組が成果として現れています。引き続き、児童個々のよさを生かし、課題や苦手を克服できるよう積極的な声かけや励まし、学習のサポートに努めてまいります。

### 国語科



### 算数科

